コード進行および歌詞情報を用いた
楽曲分類システムの構築

電子情報システム工学専攻2年6番

齋藤 佑樹 (天元研究室)

2016年2月26日

1. 研究背景と目的

- 2. コード進行に基づく楽曲のモデル化
- 3. 歌詞情報を用いた楽曲の感情分析
- 4. 楽曲分類実験とその結果
- 5. まとめ

研究背景

背景:

コンピュータネットワーク, データマイニング, ...

- 情報工学の分野における技術の発展
- 可搬性が高い音楽再生デバイスの登場
- → ユーザ志向な楽曲分類/分析システムの需要増加



今の気分に合った 曲を聴きたい...



関連研究および本研究の目的

関連研究:

- ・ コード進行に基づいた楽曲分類システムの構築 長澤ら、"近親調を用いた楽曲クラスタリングシステムの構築に向けて"
- 歌詞情報を利用した楽曲分類/検索システムの検討 舟澤ら, "歌詞の印象に基づく楽曲検索のための楽曲自動分類に関する検討"

本研究の目的:

コード進行と歌詞情報の両方を利用した

ユーザ志向な楽曲分類システムの構築



- 1. 研究背景と目的
- 2. コード進行に基づく楽曲のモデル化
- 3. 歌詞情報を用いた楽曲の感情分析
- 4. 楽曲分類実験とその結果
- 5. まとめ

近親調に基づくコード進行の数値化

近親調:類似している調同士の関係を示したもの

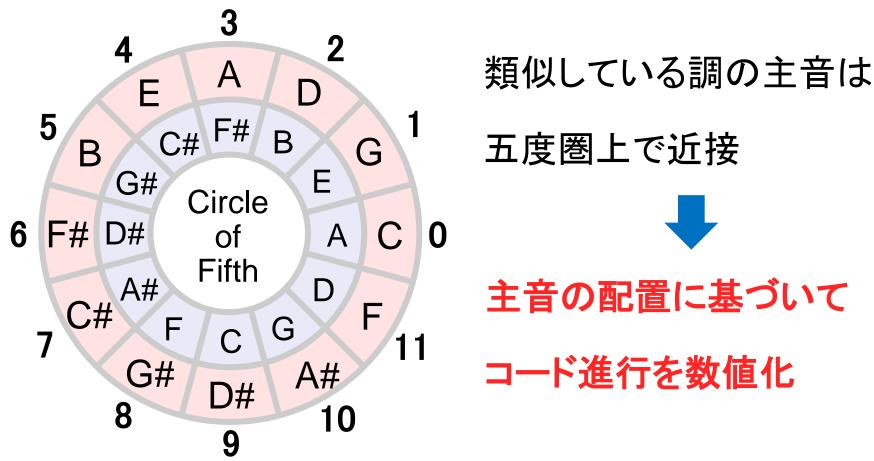


図: 五度圏 (外側がメジャー, 内側がマイナー)

HMM による楽曲のモデル化

Hidden Markov Model (HMM):

時系列で変化するデータを確率的にモデル化する手法

- コードの出現しやすさ
- コード遷移の様子

➡ HMM によりモデル化

HMM の各状態が

コードの役割に相当

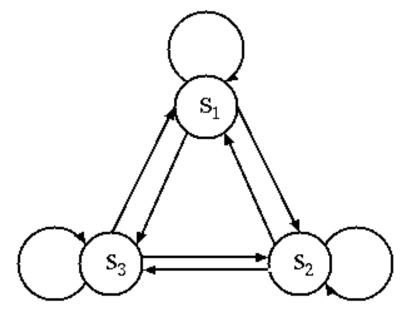


図: 状態数3のErgodic HMM

- 1. 研究背景と目的
- 2. コード進行に基づく楽曲のモデル化
- 3. 歌詞情報を用いた楽曲の感情分析
- 4. 楽曲分類実験とその結果
- 5. まとめ

感情の輪に基づく感情スコアの定義 (1/2)

Plutchik の感情の輪: R. Plutchik, "The Nature of Emosions"

8つの基本感情の強弱と組み合わせにより感情を表現

- ecstasy
- admiration

terror

amazement

grief

loathing

rage

vigilance

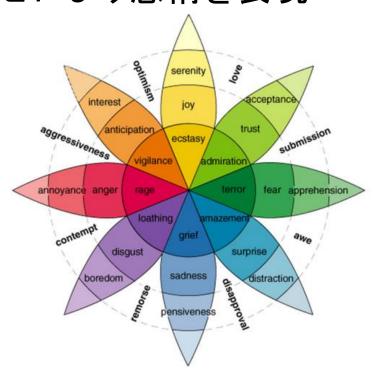


図: 感情の輪

感情の輪に基づく感情スコアの定義(2/2)

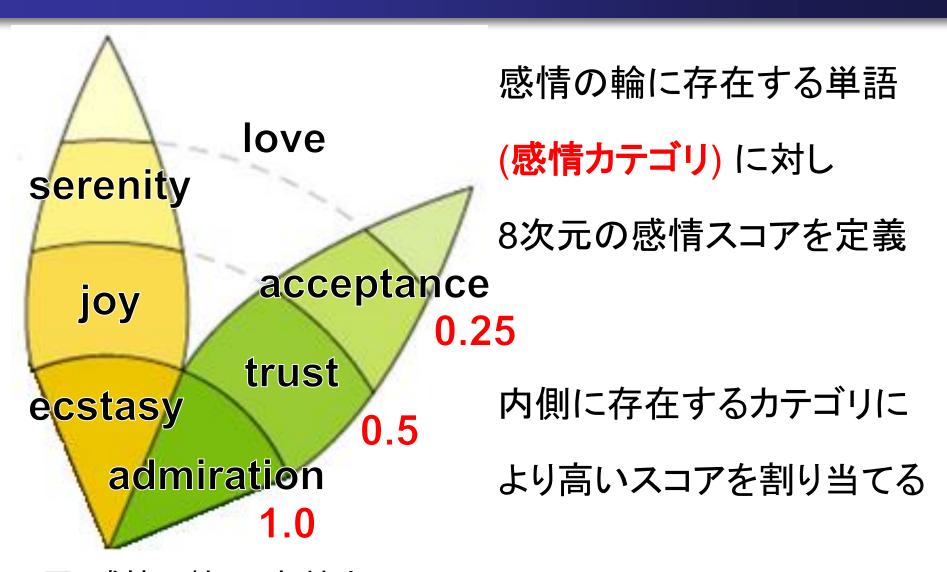


図: 感情の輪 (一部拡大)

感情語辞書の作成

感情語辞書:

WordNet から得られた単語に基づいて作成

表: 感情語の一例

感情語	英訳	感情カテゴリ
好き	like	love
臆病	timidity	fear
涙	weepiness	sadness

歌詞からの感情分析

分析手順 (概略):

- 1. 分類対象となる全楽曲の歌詞から 形態素解析により感情語を抽出
- 2. 各感情語に対応する感情カテゴリに基づいて 感情スコアを算出
- 3. 感情スコアを tf-idf により重み付けした値を 楽曲に対する感情として推定

- 1. 研究背景と目的
- 2. コード進行に基づく楽曲のモデル化
- 3. 歌詞情報を用いた楽曲の感情分析
- 4. 楽曲分類実験とその結果
- 5. まとめ

楽曲分類実験

J-Total Music において公開されている

累計人気楽曲ランキングから抽出したデータを利用

- コード進行, 歌詞情報
 - → 楽曲分類に利用
- 曲名, アーティスト名, 原曲キー
 - →結果の考察に利用



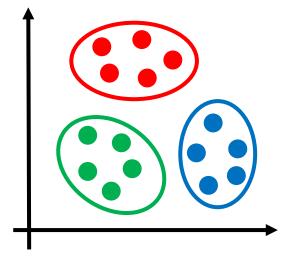
図: J-Total Music

クラスタ数を24とした k-means 法によりクラスタリング (教師なし分類)

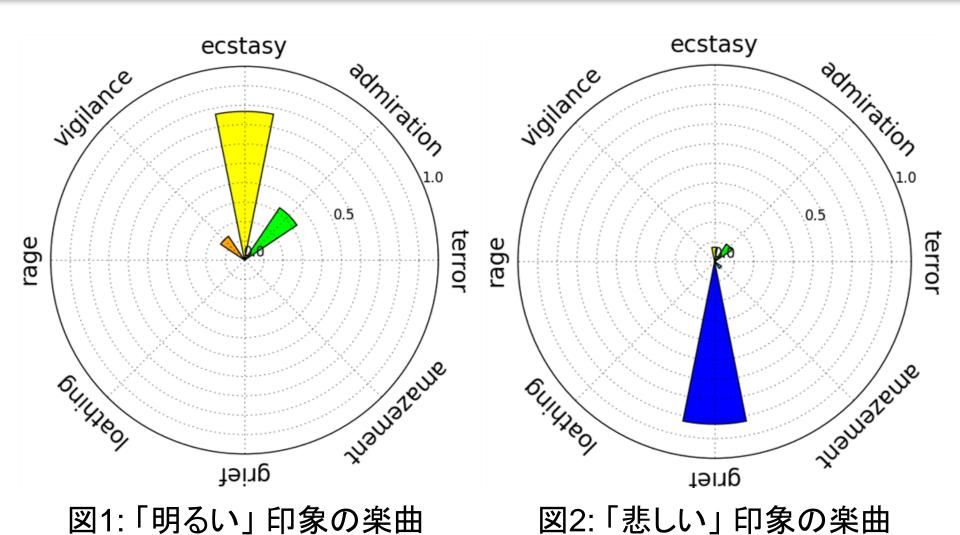
実験結果

分類結果より

- 曲調および印象が類似した楽曲によるクラスタ
- 曲調は類似しているが、印象の違いにより 異なるクラスタに属している複数の楽曲
- ・ 曲調は異なるが、印象の類似性により同じクラスタに属している複数の楽曲 以上が存在していることを確認



感情分析結果の例



齋藤 佑樹 (天元研究室)

電子情報システム工学専攻 特別研究発表会 (学外)

- 1. 研究背景と目的
- 2. コード進行に基づく楽曲のモデル化
- 3. 歌詞情報を用いた楽曲の感情分析
- 4. 楽曲の分類実験とその結果
- 5. まとめ

まとめ

研究成果:

コード進行と歌詞情報の利用により

曲調、印象の双方を考慮した楽曲分類システムの構築

今後の展望:

- ・ 楽曲検索機能の追加
- 楽曲分類におけるクラスタ数についての検討